

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床治療論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室
担 当 教 員	齋藤洋司 玉置幸久 高井清江・山本徹 他	実務経験と その関連資格	島根大学医学部(麻酔科学講座)に医師として勤務 島根大学医学部(放射線腫瘍学講座)に医師として勤務 島根大学医学部(消化器・総合外科)に医師として勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>医療の高度化・専門化の進展に伴い、看護には綿密な観察や的確な判断と技術が求められ、科学的思考を基盤にした実践力を養うためには知識・理論・技術の活用する能力が必要とされる。さまざまな健康の段階で行われる外科的治療・放射線療法・リハビリテーション療法について学び、患者の精神的緊張や不安の緩和につながる看護へと発展させ、また医療現場のあらゆる場面で取り扱われている医療機器のメカニズムを理解し、使用するための看護上の原理原則について学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>出席状況、筆記試験で総合的に評価する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>系統看護学講座 臨床外科看護総論 医学書院 系統看護学講座 臨床放射線医学 医学書院 系統看護学講座 リハビリテーション看護 医学書院</p> <p>系統看護学講座 臨床外科看護各論 医学書院 系統看護学講座 臨床看護総論 医学書院</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	外科的治療の適応について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	外科総論(外科医療の基礎) 外科的治療を要する疾患・症状			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	術後合併症について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	外科的治療の実際 小児の外科的治療			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	術後合併症について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	外科各論①術後合併症2			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	術後合併症について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	外科各論②術後合併症3			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	手術侵襲と麻酔全身管理について説明できる。	テキスト	テキストを読み予習する。	

5回	表形式	各コマにおける授業予定	手術侵襲と麻酔全身管理 総論	フヤヘト AV機器	る。授業内容をまとめ復習する。
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身麻酔について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	手術侵襲と麻酔全身管理 各論① :全身麻酔		
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	区域麻酔、疼痛管理について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	手術侵襲と麻酔全身管理 各論② :区域麻酔、疼痛管理		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	集中治療、人工呼吸について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	手術侵襲と麻酔全身管理 各論③ :集中治療、人工呼吸		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線治療の基礎・原理・特徴について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療学総論 放射線治療の基礎・原理・特徴 放射線治療に必要な画像診断 放射線治療と画像診断との関わり		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓器・部位別にみた放射線治療について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療学各論1 臓器・部位別にみた放射線治療の実際2		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓器・部位別にみた放射線治療について説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	放射線治療学各論2 臓器・部位別にみた放射線治療の実際2		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線防護 放射線治療が有効である理論的根拠についてまとめることができる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	放射線生物学・放射線防護 放射線治療が有効である理論的根拠		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの概念、身体障害者の状況、チーム医療とカンファレンスについて説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの定義と理念 リハビリテーションの概念、身体障害者の状況、チーム医療とカンファレンス		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの対象・制度・医療提供について説明できる	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの対象と制度 リハビリテーションの分野 リハビリテーション医療の提供		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	系統別－疾患別リハビリテーションの流れについて説明できる。	テキスト AV機器	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	疾病・障害・生活機能の分類 系統別－疾患別リハビリテーションの流れ		